

憲法25条を守り、活かそう!

10.25 中央行動

10月25日木

日比谷野外音楽堂

⇒ 厚労省包囲行動

スケジュール

12:00 開場

12:30 文化行事

13:00 中央集会開会

基調報告・連帯あいさつ

聞いてください! 私たちの声を

- 生活保護基準引き下げの生活実態
- 年金削減は違憲 世代を超える団結を
- 75歳以上の医療費負担2割化は死活問題
- 地方における保育労働者の深刻な人材不足
- 待機児童の解消を
- 障害者65歳問題の解消を!
- 精神障害者の権利保障を!
- 障害年金訴訟について
- 社会福祉事業の現場から
- やりがい・喜びのある介護に
- 地域医療を守ろう! 都立病院の独法化に反対

15:10 厚労省包囲行動

- 生命の危機を感じて 夏季加算の創設を!
- 障害年金訴訟について

15:30 閉会



[シャッポくん]

人間らしく生きることのできる社会保障・社会福祉制度を求めて勉強中。



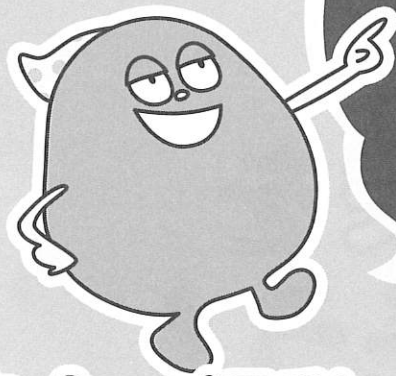
※同時時間帯でグループ分けして以下の行動を並行して取り組みます
(1)記者会見 (2)国会議員要請(厚労委員) (3)厚労大臣・副大臣要請
集会後のデモ・パレードは行わず、厚労省包囲行動を実施します。



主催 「憲法25条を守り、活かそう」共同実行委員会

集会事務局
(お問い合わせ先)

中央社会保障推進協議会/TEL:03-5808-5344 きょうされん/TEL:03-5385-2223 全国福祉保育労働組合/TEL:03-5687-2901
障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会/TEL:03-3207-5937 全国生活と健康を守る会連合会/TEL:03-3354-7431
日本高齢期運動連絡会/TEL:03-3384-6654 いのちのとりで裁判全国アクション/inotori25@gmail.com



憲法25条を守り、
活かそう!

社会保障・
社会福祉は
国の責任で!

2018 秋の集会・行動への 参加・賛同を呼びかけます

誰もがいきいきと希望をもって安心して生きられる社会にすることは、私たちみんなの願いです。生存を脅かす戦争への反省とともに、その願いが託されて日本国憲法が生まれました。

憲法第13条は、ひとり一人の生命が大事にされ、自由が守られ、幸せを求めて人間らしく生きることが最大限に尊重されなくてはならないとしています。また第25条では、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利が私たちにあり、国はそれを保障する義務があると明確に示しています。

しかしながら、政府は社会保障制度改革推進法を始めとした諸法律によって憲法第25条を空洞化させ、国民の生存権を保障する国の責任を放棄して社会保障の抑制を次々と進めています。「自己責任」と「営利化」を基本にした「社会保障解体」では国民のいのち・くらしは守れません。

本来「社会保障制度改革」は、「財源が無いから」と社会保障を縮小するのではなく、税制改革や所得の再配分機能を生かして財源を確保し、必要な保障を確保するものであるべきです。

私たちは、社会保障・社会福祉は国の責任だという

ことを、改めて政府に求めます。そして、人間らしく生きることのできる社会保障・社会福祉制度を求めて、「憲法25条を守り、活かそう!」共同行動実行委員会を立ち上げました。

今年10月・11月をゾーンに東京や全国各地で社会保障・社会福祉に関するさまざまな集会や行動を展開し、「憲法25条を守り、活かそう!」の大きな世論を創りだしましょう。高齢者・子ども・障害者・生活困窮者などの各分野を超えた団体・個人が広く手をつないで、それぞれが「憲法25条を守り、活かそう」を共通のスローガンとして掲げ、大きなうねりを創りだしましょう。共同行動実行委員会では、10月25日に日比谷野外音楽堂での集会・厚生労働省包囲という中央行動を実施します。

この一連の共同行動に、立場や分野を越えてご賛同いただき、つながり、全国各地で、集会・学習会・街頭宣伝・パレード行進などを、できれば地域共同の取り組みとして企画いただけるよう呼びかけます。

ぜひ、一緒に、手をつないでいきましょう。

2018年8月

呼びかけ人 (五十音順/敬称略)

雨宮 処 凛 作家・反貧困ネットワーク世話人
伊藤 真 美 花の谷クリニック院長
稲葉 剛 立教大学特任准教授
井上 英 夫 金沢大学名誉教授・佛教大学客員教授
宇都宮 健 児 弁護士
萩原 博 子 経済ジャーナリスト
落合 恵 子 作家・クレヨンハウス主宰
金子 勝 慶応義塾大学教授

香山 リカ 精神科医・立教大学教授
河合 克 義 明治大学学長特別補佐・名誉教授
川嶋 みどり 日本赤十字看護大学名誉教授
小森 陽 一 東京大学大学院教授
菅原 文 子 米軍基地に反対する「辺野古基金」共同代表
竹下 義 樹 弁護士
堤 未 果 国際ジャーナリスト
富田 宏 治 関西学院大学教授

西谷 修 安保法制に反対する学者の会呼びかけ人
浜 矩 子 同志社大学大学院ビジネス研究科教授
尾藤 廣 喜 弁護士
日野 秀 逸 東北大学名誉教授
藤井 克 徳 NPO法人日本障害者協議会代表
藤田 孝 典 NPO法人ほっとプラス代表
本田 宏 NPO法人医療制度研究会副理事長・外科医師
吉原 毅 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長